

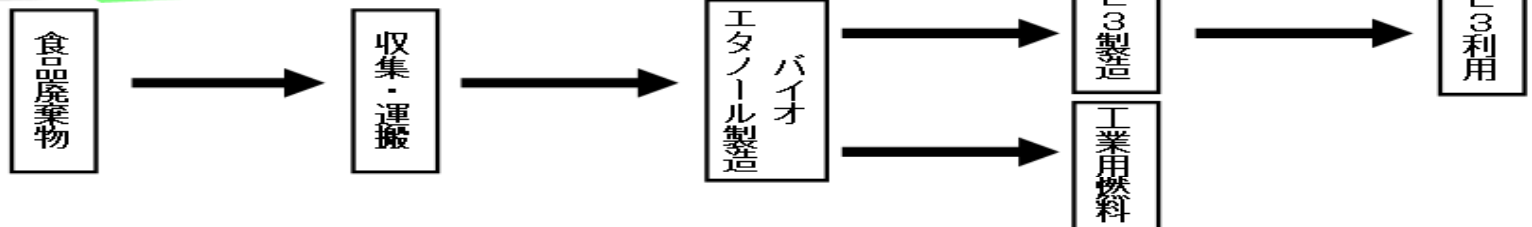
# 食品廃棄物エタノール化実証事業 1

実施主体：新日鉄エンジニアリング株式会社(北九州技術環境センター)

実証内容：食品廃棄物からエタノールを製造する技術を確認することによって、食品廃棄物の有効利用を目指す。また、製造したエタノールを自動車燃料(E3ガソリン)として利用することにより入口から出口までの一貫した社会システム実験を行う。

実証期間：平成17年度～平成21年度

処理量：10t/日



- ◎大規模排出者による分別
- ◎モデル商店街等による分別
- ◎モデル小学校・モデル病院による分別

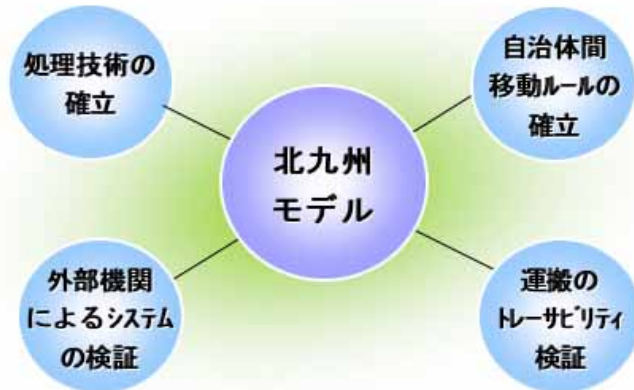
- ◎二室分別収集車による収集・運搬
- ◎環境バスポート事業と連動した分別収集

- ◎ごみ焼却炉の蒸気利用
- ◎糖化技術
- ◎連続発酵技術

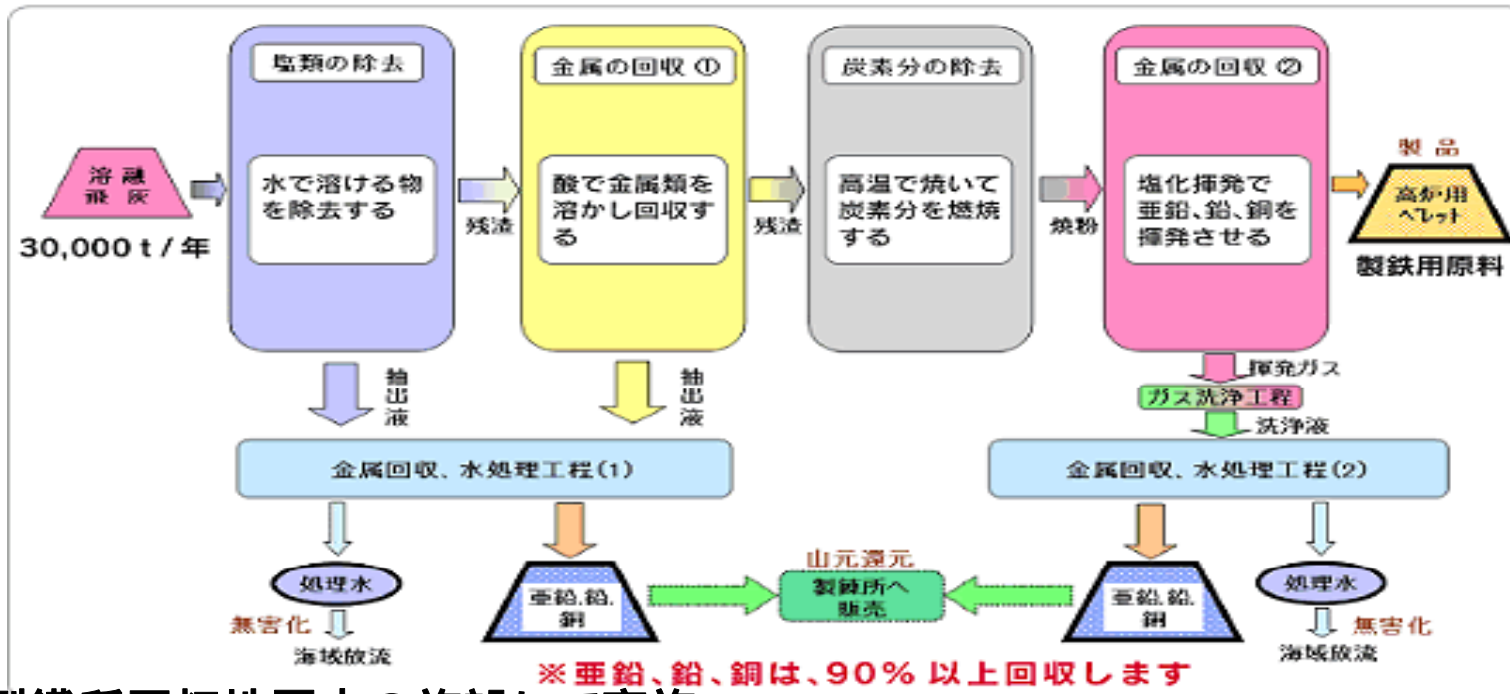
- ◎E3ガソリンの製造・供給
- ◎工業用燃料での利用

- ◎E3ガソリンの利用

# 光和精鉱(株)の溶融飛灰処理



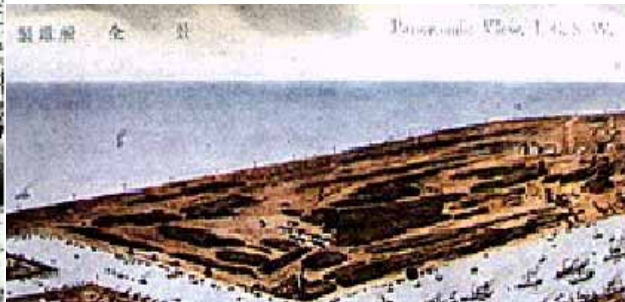
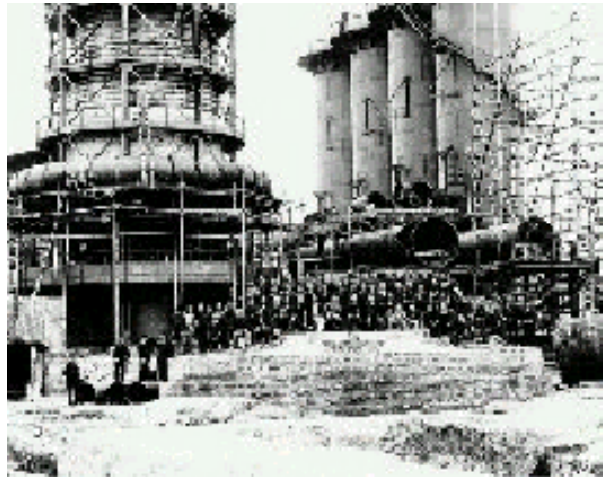
光和精鉱は、北九州市、新日本製鐵(株)と共同で、早稲田大学の協力のもと、独自の溶融飛灰資源化処理システム、安全・安心・信頼の「北九州モデル」を確立しました。



\* 八幡製鐵所戸畑地区内の施設にて実施

# 八幡東田地区 グリーンビレッジ事業

# 日本近代産業発祥の地「八幡東田」



- 1901年、官営製鐵所の創業の地
- 産業都市：モノづくりの活力による「まちづくり」の歴史



# 八幡東田総合開発事業



- ・百万都市の中心で展開する大規模な都市開発プロジェクト
- ・「産業ゾーン」と「生活ゾーン」の共生を目指す複合機能都市